

MCC雑感2008-6

於：丸紅本社1階 コンチェルト

参加：13名

1) 今月のテーマ

ファイルの徹底理解

今回のテーマは、古くて・・・古い項目。

しかしながら、これを理解すれば、パソコン操作は目に見えて、格段に上達するという「ファイルの徹底的研修」です。

殆んどが耳慣れた或いは聞いたことがある内容とは思いますが、この際十分に理解を深めたいものですね。実はMCCでは「ファイル」については、2000年2月、2006年6月と既に2回の研修を行ないました。

以下今回の研修内容を目次のみで記しておく。

- 1) 2000年2月の研修のおさらい
- 2) アイコンとは
- 3) ショートカット・アイコンとは
- 4) ファイルを右クリックする
- 5) 拡張子
- 6) エクスプローラー
- 7) フォルダー・オプション
- 8) 圧縮と解凍

さて、ファイルについては語り始めると限が無く、今回はこの後の予定だった、

9) ファイルの形式は時間切れで割愛となった。

この際改めてコクっておくが、今月のテーマは日経パソコン4月14日号～6月23日号まで、6回に亘って掲載されている「スッキリ解消・ファイルの謎」をベースにして換骨奪胎したものである。

2) 今月のヒット「パソコンの故障は叩いて治す」

今月MCCを沸かせた話題はドクター矢野の名言「叩いて治した」故障！？
その経緯をじっくりと聞かせて頂いた。

或る日突然のピープ音
モニター画面は真っ暗
マウス、キーボードが全く利かない
電源ボタンでのシャットダウン不能
已む無く電源コードを引っこ抜いて再入力するも、状況全く変わらず
ピープ音の連続とモニター暗黒状態が続く
工場送りを覚悟するが、バックアップは完全かとの不安？

取り敢えずの応急措置として、放置されていた98を立上げ、メールは可能と
しておく。

メーカー（エプソン・ダイレクト）のサポートに電話すると、先ず最初に埃の
掃除はしているかと聞かれる！
ピープ音は多くの場合メモリーの機能不調か、マザーボードの接触不良で、そ
の原因は埃によることが多いと・・・

ここで、昔の家電品での経験から、パソコンを強く平手打ちしたら・・・なん
と正常に戻った！！



皆さん、普段からエアダスターで埃の除去はしておいた方がよいですよ。

因みに「ビープ音が鳴って起動する気配がない」を調べると、

症状/原因/対処・電源を入れた時にビープ音が鳴り響いたまま、画面が真っ暗な状態と言うのは、**BIOS** がハードウェア関係のエラーを検出した証拠です。まずは、ビープ音のパターンを判断し、電源を直ちに落とします。エラー検出時点でのビープ音のパターンについては、**BIOS** メーカーによって異なりますが、多くの場合はパソコンの取り扱い説明書やマザーボードの取り扱い説明書等に記載してありますので、説明書等で確認してトラブルの原因を判断します。**BIOS** メーカーのトップシェアを誇る **AwardBIOS** を例に、ビープ音とエラー内容について、この項の下部に表記していますので、目安にして下さい。

AwardBIOS におけるビープ音のパターンとエラー内容

- ビ　：　正常
- ビ・ビ　：　B i o s 設定エラー
- ビー・ビ　：　メモリ/マザーボードエラー
- ビー・ビ・ビ・ビ　：　キーボードのエラー
- ビーを繰り返す　：　メモリーのエラー
- ビを繰り返す　：　電源のエラー
- ビー・ビ・ビ　：　グラフィックボード或いはディスプレイのエラー

3) ノートンの悩み



勇介さんのノートン2008更新は、些少のトラブルで収まったようですが、今月はノートンを巡る悩みが数多く聞かれました。

曰く、XP-SP3をインストールする場合はノートンを無効にしておくべし

曰く、マカフィーなら何年でも自動更新できるのに・・・(これは事実です)

曰く、ソースネクストなら一切更新手続きはなく、XP有効期間は無料なのに

にも拘らず、MCCは開闢以来ノートンを公式のアンチ・ウイルス対策ソフトとして認定し続けているわけですが、やはりウイルスの怖さは一度でも罹ってしまった者なら忘れられない恐ろしさです。

皆さんのパソコンには何時もモニター画面の下の方に安全マークが付いているようにして下さいね！！

追記： 6月22日小島さんのノートン360について、自動更新契約をしていたはずなのに、期限切れの警告を暫らく無視していた結果か、期間延長について思わぬトラブル・・・という詳細報告を頂いた。
結局はシマンテック社のリモート・サポートで解決されたとのことなので、今後はこのサービスを初めから目指すのも手かも！？

4) XP遂に販売終了



2001年以来長きに亘り、最も大量に売れたというXPが遂に販売終了。しかし、VISTAの不人気もあり、ユーザー（特に企業向け）のXP需要は衰えず、今後も超小型パソコンでは売り続けるとか、ダウングレード版を売るとか、マイクロソフトもしぶとい。

気になるサポート期限については、

*メインストリームサポート期間は、2009年4月14日、これ以降はセキュリティ関連の修正プログラムは提供されるが、それ以外の修正プログラムの無償提供などは無くなる。

*延長サポート期間は2014年4月8日まで。

5) IT世界の「あちら側」と「こちら側」

マイクロソフトがグーグルの後塵を拝したという焦りを見せているという。それかあらぬか、10年前インターネット・エクスプローラーをOSに無償でくっつけてNetscape社を追い落とした時のような勢いが見られない。20世紀に於ける最大のビジネス成功者と云われるビル・ゲーツも会長職に退いて引退も近いと噂されている。

Web世界でのグーグルの突出は明らかで、マイクロソフトの起死回生策たるヤフーの買収はどうやら上手く行かなかったようだ。

結局マイクロソフトは「こちら側」の王者ではあるが、「あちら側」では劣勢ということで、そのことは現在直ぐにマイクロソフトの経営に陰が見えるということでは決してないのだが、5年～10年先にはもはやマイクロソフトはトップ企業ではあり得ないということなのだろうか！！？？

「ウェブ進化論」から、この辺の機微を探ってみよう。

著者の梅田氏は、ハードウェアとソフトウェアをユーザーに納める現行のコンピュータ産業を「こちら側」と表現し、無形のサービスだけを提供する新しい形態のコンピュータ産業を「あちら側」と呼ぶ。そして、同氏は「Microsoftのビルゲイツ氏も、「こちら側」から「あちら側」へ渡ることができなかった」と言い切る。その理由は、パソコンの歴史にあるという。パソコン業界は、「複数の利用者で共有していた大型計算機の資源を個人が占有する」ことを目標に、産業が発展を遂げてきた。つまりその原動力は所有欲にある」。ところが、インターネットの世界では「所有」という考え方が希薄になる。これが「こちら側」と「あちら側」の決定的な違いである。



6) 迷惑メール

今月竹内さんが発信人、件名、文面の一切無い迷惑メールの襲来を受けた。



インターネットの世界では悪意に満ちたもの、単なる愉快犯、押し売り宣伝広告、出会い系サイト、更には詐欺・恐喝まがいのもの等、ありとあらゆる「迷惑メール」が昔から横行していて、本当に頭痛の種だが……大塚昭さんのスパム・キラーのような根気よい退治の仕方以外は一発解消の方法はないようだ。

因みにスパムの襲来はアドレス変更という奥の手が存外有効というのが私の経験的持論だが。

因みに迷惑メールを規制するための法律「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律（特定電子メール法）」の改正案が4～5月、衆参両院で可決され成立した。

今後は受信者の同意を得ていないメールをすべて迷惑メールと看做すこととし、罰則も強化されて最高 3,000 万円となった。ではどのようにして具体的な運用方法をについての省令やガイドラインが設定されるのかは、今後6ヶ月以内に定められるというのだが……

この法律では正体を現さない、竹内さんあての迷惑メールのような場合は取り締まりようがないのだけれども。

—以上—